学力向上のための重点プラン【小学校】　新宿区立市谷小学校

■　学校の共通目標

授業作り	重点	基礎的基本的な内容がどの児童にも定着できるような授業を展開する。
環境作り		児童が授業に集中できる環境、意欲的に取り組むことができる授業環境を整える。

■　学年の取組について

学年	学習状況の分析 （各種調査から）	学校が取り組む目標 （日常の授業の様子から）	目標達成のための取組
1学年		・基本的な学習習慣を身に付けられるようにする。 ・学習に意欲的に取り組めるようにする。 ・相手を見て話を聞き、ちょうどよい声の大きさで話せるようにする。	・継続的な声掛け ・掲示の活用 ・声のものさしの活用
2学年		・学習規律を整える。 ・友達との交流を通じて学習の理解を深めることができるようにする。 ・既習の漢字を使って、文章を書くことができるようにする。	・スモールステップでの取組 ・交流の場の設定 ・文を作る活動の定期的な実施
3学年	・どの教科・領域も全国平均を上回っている。 ・計算を速く正確に行う力を付けることが必要である。 ・自分の思いや考えが明確になるような文章を書く力を伸ばす必要がある。	・計算の決まりを正しく理解し、正確に計算できる力を身に付けられるようにする。 ・「まず～」「つぎに～」「そして～」などの順番を表す言葉を使うことで、順序立てた文章を書く力を付けられるようにする。	・計算の反復練習 ・読書活動の充実 ・デジタルドリルの積極的な活用
4学年	・どの教科・領域も全国平均を上回っている。 ・話すこと・聞くことのポイントが高い。 ・一方で、自分の考えを書いてまとめる力向上が必要である。	・既習事項を活用し、自分の考えを深めたり広げたりできるようにする。 ・自分の考えをまとめる力を高められるようにする。	・相手意識をもつ活動の設定 ・多様な交流方法を用いた学習活動
5学年	・国語、算数ともに全国平均を上回っている。 ・考えを文章にすることに苦手意識をもっている児童が多い。 ・算数では、図や言葉、式を使って自分の考えをノートにまとめることに意欲的に取り組んでいる。	・伝えたい内容を整理し、順序立てて話すことができるようにする。 ・文章を書くことへの抵抗をなくすような工夫をする。 ・算数では、自分の考えを説明する力を伸ばしていく。	・発表前に自分の考えを整理する時間の確保 ・考えを説明し合う時間の設定
6学年	・国語、算数ともに全国平均を上回っている。 ・自分の考えたことを、相手意識をもって伝えることが苦手な傾向がある。 ・発展的な問題に粘り強く取り組むことができていない児童もいた。	・相手意識をもって、意見を述べたり、発表したりできるようにする。 ・全体の構成や文脈に即して、言葉の意味や働きを考える力を伸ばす。 ・発展的な問題に既習事項を活用しながら粘り強く取り組むことができるようにする。	・話し合うための観点の提示 ・解くだけでなく、説明を行う時間の設定 ・発展的な問題への取り組み時間の確保